

あなたの街の「地域活性」を支援する情報誌

2021
Late
Autumn



人が笑む、街も笑む。
[プラス・エム]

2021. 10

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マーチング委員会は「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に加盟しております。



あなたの街で活動する

『別府マーチング委員会』

株式会社 樋口紙器工業所

の活動を裏表紙でご紹介します! ▶▶▶

今号の街／大分県別府市

作品タイトル: 海から見た別府 作家: 松村博行

温泉都市別府は背後に鶴見岳を擁し、別府湾に広がる扇状地です。山に降った雨が数十年の年月をかけて温泉として噴出しています。別府温泉の噴出量は日本一(世界2位)です。

特集: マーチング活動事例紹介① 台東マーチング委員会・望月印刷 株式会社

手描きのまちなみイラストがコロナで疲弊した社会で求められている

特集: マーチング活動事例紹介② いわきマーチング委員会・株式会社 いわき印刷企画センター

私の百景→会社の百景→地域の百景へ。感動を広げる新たなチャレンジ

マーチング委員会「日本全国おすすめ情報」

地域活性の取り組み紹介「キラリ輝く地域メディア」



一般社団法人

マーチング委員会®



東京都 台東区
台東マーチング委員会
望月印刷 株式会社
担当：牛込 秀行

手描きのまちなみイラストが コロナで疲弊した社会で求められている



柳橋

beforeコロナ、afterコロナ

以前は1人の社員が担当していたマーチング活動だが、今年の3月頃から5人体制にして、毎月の定例ミーティングも設けるなど、活動の仕切り直しをしているという台東マーチング委員会。そこには、コロナ禍で得られた気づきがあるという。

コロナ前から、隅田川の屋形船や地域振興イベントで知り合ったお店などにまちなみイラストの絵葉書を置いてもらっていた。屋形船や隅田川などのイラストだからそこに来る人たちは親近感を持ってくれると期待していたのが、反応がイマイチ。そうこうしているうちにコロナになり販売を休止してしまった。他には、東京都の産業展への出展や、自社の玄関先で絵葉書などの無人販売を行ってきたが、いずれもぼちぼちという程度だった。

潮目が変わったのは、コロナにより人々の生活に閉塞感が広がってからだ。2021年1月の産業展でイラスト展示と絵葉書の販売をしたところ、多くのお客さんが足を止めてくれ、「こういうのはいいね」「ホッとする」などを声をかけてくれるようになったのだ。また、会社の玄関前での無人販売も、看板を大きくしたりしたところ売れ行きがこれまでの6倍くらいに増え、立ち止まってイラストに見入る人の姿も見られるように。

人通りの多くない通りには画期的なことだ。中にはエントランスの内線電話



望月印刷本社玄関での看板と無人販売



産業展での展示の様子

から問い合わせてくる人も出てきた。ただ代金を投入して購入すればいい仕組みなのだが、「これはどういうものなのか、ちょっと話を聞かせてください。興味があるので」というのだ。

「こうしたお客さんの声からわかるのは、CGやデジタルでなく、手描きのイラストであることが魅力だということ。みなさん、コロナ禍やテレワークで疲れて、アナログ的な温かみのあるものに飢えているのかもかもしれません。マーチングのイラストは地域の人に刺さるコンテンツなんだと感心しました」と言う牛込さん。こうした店頭販売や産業展の反応が良かったことにより、マーチング活動に関わる社員たちの士気も上がり、自主的にマーチングのイラストを使った販促展開の提案も出てくるようになった。8月からは、イラストを使ったマグカップなどのグッズのweb販売も始めている。

イラストを有効活用し 地域とつながる活動にシフト

もともと台東エリアは観光客が多く集まる場所で、人気のイラストは吾妻橋、柳橋など、昔ながらの地域のシンボリックなものだった。コロナ禍で観光地は打撃を受けたとはいえ、やがて、観光客も戻ってくるだろう。その時に台東区のお土産として、まちなみイラストやイラストグッズを販売していきたいという計画しているそうだ。

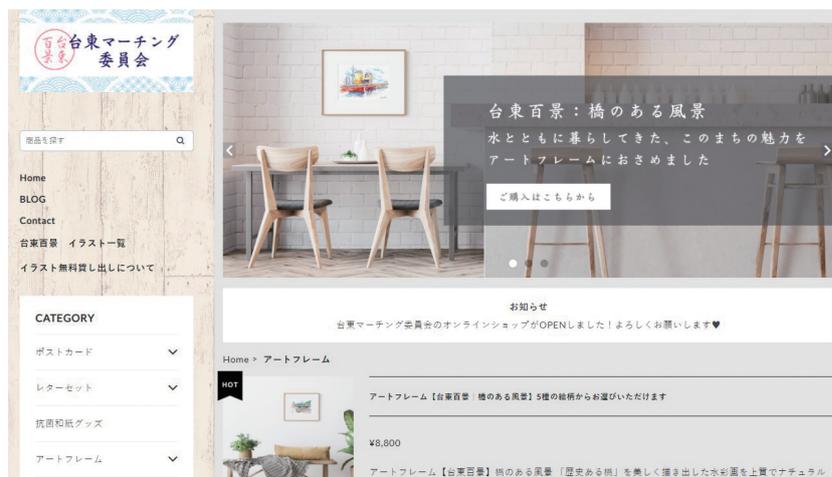
また、台東マーチング委員会を主宰している望月印刷は大手企業との取引による商業印刷つまりBtoBがメインで、地域密着の活動をしていなかった。しかし、まちなみイラストにより地域での認知度を高めていけるという手応えを得て、今後は、イラストにより地域とのつながりを広めていきたいと考えている。実際、社長が名刺や絵葉書、カレンダーを持参して区役所への定期訪問を始めた。郵便局に広告ポスターを出して、イラスト

付き年賀状の受注計画も進めている。今後は、他のマーチング委員会が行っているような区役所や商店街でのイラスト展など、もっと地域の人に喜んでもらえる活動を考えていきたいと、抱負を語ってくれた。

新型コロナのパンデミックは社会全体を厳しい状況に陥れたが、その反面、人の心にとって何が大切かを見つめ直す

機会にもなった。その中で癒しの一つがマーチングの活動であるという証明を台東マーチングの事例からうかがい知ることができた。

今後はマーチング活動をもっと本業につなげていきたいというのが目下のテーマだというのが、地道でも一歩一歩着実に前進している印象を受けた。■



今年8月から開始したweb販売のサイト

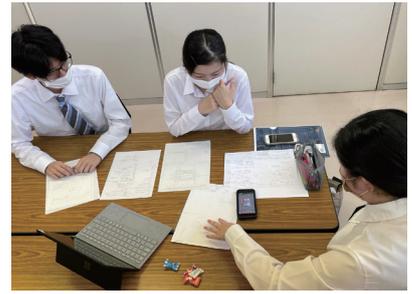


POINT! 「好感度の高い活動だから、 マイペース&気長に」

「望月印刷とマーチングが相乗効果を出すには、望月印刷がやっていることがわかるように玄関先での告知や販売のような顔の見えるアプローチが有効な気がしています。そのほうが、印刷会社がこのようなことをやっている意外性やローカル性など、購入者にとって物語性を感じられるのではないのでしょうか」と語る牛込さんだが、気長にやっというスタンスで、成果を出すのに焦ってはいない。そもそもマーチング活動のメリットとして「ガリガリしていなくて、マイペースでできるのがいい」と言う。好感度の高いコンテンツによる嫌味のない取り組みだからこそ継続できるし、本業を行いながら無理なくできる。事業承継の問題等で小さな印刷会社の中には廃業せざるを得ないところもある中、「印刷会社がなくなったら困る。うちの地域には望月印刷がある」と認識してもらうためのアピールにもマーチング活動は寄与していけると考えているそうだ。



鹿島ショッピングセンターエブリア様での展示会



やる気あふれるインターン生

目標は20万円、期間は4月16日から1カ月。告知方法は、地元の相双五城信用組合にチラシを置いてもらったり、鈴木さん自身がYouTubeで情報を発信したり、スーパーで仮設のイラスト展を開いたりした。当初は支援額を6千円と8千円にしてリターンは百景のグッズをプレゼントすると設定したが、社員からもっと高額なものもあったほうがいいという意見があり、支援額6万円で上野啓太さんにイラストを描いてもらえるリターンにしたところ、これだけでたちまち目標額に達することに。結果は、支援額483,000円、達成率241%。

クラウドファンディングにはさまざまなメッセージも寄せられ、「昔からファンでした、頑張ってください」「いつもお世話になっている神社がないのはおかしい、私がお金を出すからそこを描いてください」などの声が活動に関わるメンバーのモチベーションを高めた。そうして、新たに5カ所のイラストができ、贈呈式を行い、新聞でも紹介された。

なお、商業施設における恒例の夏のイラスト展は今年も開催した。ただイラストを展示しておき、静かに見ってもらう方法なのでコロナの感染のリスクはほとんどない。

今年11月には市のまちづくり予算により、

上野さんに来てもらってイラスト展と絵はかき教室を行う予定だ。

インターンも巻き込んでみたら

もうひとつ、新たな挑戦としてインターンシップの受け入れを行っている。1月に地元出身で東京の大学に進学しているがコロナで大学が閉まって登校できないという学生をインターンとして数日間受け入れた。9月には地元の学生3人を受け入れ、マーチングに関わるお店の取材や、自社社員へのインタビューなどをしてもらい、会社のブログの記事も書いても

らった。例えば、「営業ってどんな仕事?」という取材では、社員もノリノリで話しているのを見て、社内に新たなエネルギーが感じられたと言う。その後、インターン志望者が1人増え、今度は週1回など継続して有給のインターンシップを行う。これもまた新しい取り組みであり、マーチング活動にもどのような刺激となるか楽しみである。

故郷を離れて東京で大学生活を送っている若者にとっても、改めて地元の良さを知るきっかけにもなるのではないだろうか。鈴木さんの描く「地域の百景」に巻き込む力がさまざまな形で広がっているのは間違いない。■

POINT! 「きちんとやっていたら成果は出る」 未来へつなぐ持続性を考える」

クラウドファンディングにより新たに増えたイラストは5カ所。藤間中学校、立錫鹿島神社、金刀比羅神社、専称寺、そして合併により看板が変わってしまうから留めておきたいというガソリンスタンドだ。そのイラスト贈呈式を新聞でもすぐに記事にしてくれた。イラストを見る人々の目には優しさが宿る。鈴木さんは11年の活動を振り返り、「マーチング活動をやってよかった、きちんとやってきたからこうしてみんなが協力してくれ、地域の百景になってきたんだと実感した」と言う。継続の価値をよくわかっているからこそ、将来に向けて持続性のある活動のあり方にもいち早く目を向けているのだろう。



石川県 七尾市 石川マーケティング委員会
石川印刷株式会社 担当：北原 和典



google
ストリートビュー



ユネスコの無形文化遺産に登録されている青柏祭(毎年5月初旬に開催)でも有名な七尾市で、能登半島里海の恵みと職人の技をぜひご堪能ください!

能登前寿司ランチで会話もぴちぴち 午後からも元気

能登前寿司ランチメニュー

ちらしランチ・にぎりランチB・
地物おまかせ寿司
能登前寿司14貫



店主みずから、毎朝市場に行き、直接お魚を見て買い付けしています。おおよそ30種類以上の新鮮な地元のネタが揃います。能登で捕れる定番のもの、旬のものを味わう事ができます。ランチの時間では、ランチメニュー以外に地物おまかせ寿司というメニューもあり、大人気です。好きなお寿司1貫の追加もOK。一本杉通りの近くのお店です。ここは、でか山の街の

一端。ゆるりと散策し、能登の歴史に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



能登前寿司 千代ずし
〒926-0865 石川県七尾市松本町25-1 <https://www.chiyozushi.com/>
TEL:0767-57-5316 営業時間:11:30~14:00、17:00~22:00(L.O.21:30) 定休日:水曜日



東京都 文京区湯島 湯島本郷マーケティング委員会
株式会社TONEGAWA 担当：利根川 芳明

湯島天神に梅の香り満ちて 東京に春が訪れる

湯島天神 梅まつり



琵琶・尺八・お琴の演奏や、野点もお楽しみいただけます。

開催期間
毎年2月8日~3月8日



湯島天満宮は、学問の神様として知られる菅原道真公をご祭神とし、古くから「天神様」として親しまれており、学業成就・合格祈願の参拝者で賑わっております。

梅まつりの開催期間中、都内にご用のある委員会の皆様方には、数多くの奉納演芸、各物産展等の催し物も企画されて

おりますので、ぜひご参拝の方々、道真公の愛した梅の花に思いを馳せご観梅くださいませ。



湯島天満宮
〒113-0034 東京都文京区湯島3-30-1 <https://www.yushimatenjin.or.jp/>
TEL:03-3836-0753(社務所)

鍋島裕俊が選ぶ
キラリ☆輝く
地域メディア

コロナ禍の今、地域コミュニティの再生・醸成のために、地域に暮らす老若男女の互いの顔の見える化・魅せる化できるもの、地域メディアが求められています。「キラリ☆輝く 地域メディア」では、鍋島が蒐集した全国各地のメディアの中から、今が“旬”なメディアやマーチング委員会で実施可能なメディア・スタイルを紹介し、前回の地域メディアは、子どもたちが自分の住んでいる町を調べ取材し記事にしたメディアを紹介しました。メディア作りに参加した子供たちが、成長して生まれ育った町から離れることがあっても、メディア作りによりシビックプライドの醸成に繋がりました。



北海道 奥尻町

file No. 06

地域に関連する諸事象を、
50音の形式でカード化した「郷土かるた」

奥尻観光協会「奥尻かるた」紹介ページ <http://unimaru.com/?m=201305>



今回の地域メディアは、探せば全国いたる所にある「地域かるた」を紹介し、同時に「地域かるた」を地域で作るワークショップについても触れます。

「地域かるた」とは、地域に関連する諸事象を、50音の形式でカード化したものです。土地の記憶、日常の営みを伝える“郷土かるた”のことで、

探してみると東京近郊にも多々あります。一例を挙げると、埼玉県は「いわつき郷土かるた、おおみや郷土かるた、かすかべ郷土かるた、かわごえ郷土カルタ、ぎょうだ郷土かるた、等々」。千葉県は「かしわ郷土かるた、銚子かるた、野田かるた、房総子どもかるた、松戸のかるた等々」。東京都は「いたばしカルタ、かつしか郷土かるた、すみだ郷土かるた、豊島区郷土かるた、八王子郷土かるた等々」。神奈川県は「おだわらこどもかるた、鎌倉かるた、かわさきかるた、さがみはら郷土歴史かるた、横浜歴史イロハカルタ等々」。

私が持っている「地域かるた」は、北海道の奥尻島「奥尻かるた」で、奥尻島の名物・地名・暮らしを、素朴な島ことばとおどけたイラストで表現しています。

私が「キラリ☆輝く 地域メディア」に「地域かるた」を紹介した意味は、持続可能な地域・社会の実現に向けて、人と土地、人と人とを繋げる新たな文化を創るツールとして「地域かるた」を活かせたら良いな、それをマーチング委員会がプロデュース&ファシリテーションしてほしいな、と考えたからです。

「地域かるた」のワークショップ、特に地域と大学がコラボして実施したことを私が知ったのは、数年前。最近では小・中学校の授業で“街を知ろう”という課題で街のかるたを作るを行っているという情報も聞こえています。

地域と大学がコラボした例は、芝浦工業大学建築学部の志村教授のゼミで、江東区とコラボして単語帳形式の「かめたん」を作りました。志村教授は、2018年に「東京湾岸地域づくり学」という本も書かれています。この「かめたん」は、亀戸文化センターが開いた講座「亀戸のまちのサポーターになろう」の受講生と志村ゼミの学生によって作成されたもので、実際にまち歩きし参加者が感じた亀戸の顔、親しみのあるもの、ユニークなものなどを選んで作られています。形は名刺より少し大きくて単語帳のように持ち運びしやすいデザイン、全143カ所が写真付きで解説されています。

「かめたん」は「地域かるた」ではありませんが、地域の世間遺産やヒト・ミセ・モノ・コトを紹介しており、手に持って地域巡りが出来るツールです。

「かめたん」は作成時に、カードに載せた対象を参加者が実際にまち歩きして選びました。「地域かるた」も同様で、地域資源をまち歩きして選びます。



ワークショップでの「地域かるた」作成手順

- ①参加者に対して「地域かるた」作成の趣旨説明。
「日常の目線で地域の魅力を発見し、共有しよう」が作成趣旨。参加人数が多ければ地域ごとにグループ分けを行う。
- ②かるたの素材集め行動開始。
グループで指定された地域に行き、発見した気になる対象を写真撮影し、記録する。
- ③かるた台紙の作成＝読み文記入。
写真の対象物から読み文を考える。その後、大きめの台紙の上半分に写真を貼り、下半分にかるたの読み文と考案者の名前を入れる。写真と文章を組みあわせることで1枚のかるた台紙が完成する。
- ④かるた台紙を50音順に並べて、重複や欠番の有無を確認する。
重複の場合は全員による多数決で1点に絞る。欠番があれば、重複カードの変更で可能かを検討する。
- ⑤全ての50音かるたの完成。
写真と読み札の50音が揃ったら、絵札を写真かイラストのどちらにするかを決める。できれば写真よりイラストが良い。以上で「地域かるた」作りのワークショップ終了。
- ⑥完成した50音の「地域かるた」を通常のかるたの大きさに印刷する。
別の日にワークショップ参加者を集め、完成品を1個提供し、かるた大会を開催する。

コロナ禍の今、地域に住み暮らす人、老若男女と一緒に、地域の良さを自分たちで探し、「地域かるた」を作り、そして遊ぶことで、ますます地域の力は、持続可能な地域・社会の実現に向かって醸成・邁進することでしよう。

◎自分たちの住み暮らす地域は、他とは違うんだ、まさに地域に独自性があり、その見える化は、今回の「地域かるた」によって具現化するでしょう。アイデンティティを持つ地域の実現を、マーチング委員会がプロデュース&ファシリテーションすることで完成させましょう。全国各地のマーチング委員会メンバー、自分たちの地域で、地域に住み暮らす老若男女と一緒に「地域かるた」をイラストで一緒に作るうではありませんか。



鍋島 裕俊
折込広告文化研究所 代表
元 朝日オリコミ社長室長、メディア戦略アドバイザー

朝日新聞社系の折込広告会社に営業で入り、その後、出版、マーケティングを経て、現在、メディアの方向性を考える戦略セクションに所属。折込広告全国大会の分科会やセッションのプロデュースを担当。折込広告に関する過去の著作は、「商業界」「食品商業」「宣伝会議」「販促会議」「物価資料」など多数。

「継続は力なり」を原点に、 「変化」と「笑顔」をプラスして!!

一般社団法人マーチング委員会 理事
日比野 薫



私がマーチング活動を始めてから6年目を迎えています。サラリーマン時代の上司から、各地域のまちなみイラスト百景のコンテンツを基に魅力的なまちづくり活動を推進しているマーチング委員会を紹介していただいたのがきっかけです。実際に関わってみると、周りの方から褒められたり喜ばれたりすることが多く、それが次の活動のパワーに繋がっています。

私の座右の銘に「継続は力なり」という言葉があります。小学生の頃走ることが苦手だった私は、中学生になって野球

部に入りましたが、新入部員の頃はゲームに参加できるわけでもなく黙々と田舎道を走るのが日課の1年間でした。しかし、その結果、走力がいつの間にか鍛えられ、校内1の走力自慢の少年となり、運動会がとても楽しみになったほどでした。社会人になってからも「継続は力なり」を行動の信条としていましたが、そのためには「変化」していかなないと成長につながらないことも学びました。

そして、このマーチング活動においても、「継続」の大事さを身をもって感じ

ています。「先義後利」を基本理念とする地道な活動ですが、手描きのまちなみイラストには非常に温かみがあり、ご覧になった方々から共感や感動の輪が広がっていきました。マーチング活動に関わる、郷土愛の強い方々とのご縁からも喜びや気づきをいただき、継続の大きなエネルギーとなっています。現在の私の任務は皆様の活動を他のお仲間に伝える広報担当ですので、積極的に情報を取りに行くとともに、皆様からメールやSNSによりいただいた情報を取りまとめ、広く発信していくことに努めています。これからもコツコツと活動を続け、適宜変化を捉えて率先垂範して行動し、素晴らしい輪をさらに広げられるよう邁進していきます。

マーチング委員会「今後のスケジュール」

マーチング委員会公式ホームページ <http://machi-ing.jp/>

2021/10/22(金) マーチングEXPO2021(ZOOM)

14:00~18:00 各委員会ECサイトのプラットフォーム構築に向けた基調講演と動向及び第6回マーチングアカデミー塾を開催します。



2021/11/10(水) 地域のキーマンづくり リーダー養成講座(ZOOM)

16:00~19:00 第6回『DXの本当の意味と技術の使い方』並木将央氏による経営セミナー



地域のキーマンづくり リーダー養成講座(バックナンバー)

第1回~第5回までの並木将央氏による経営セミナーは、マーチング委員会ホームページの会員専用サイトにて**限定公開!**

マーチングアカデミー塾 第5回ウェビナー(バックナンバー)

2021年8月26日にリモート開催されたウェビナーの様子は、QRコードからご視聴いただけます。



表紙の街の委員会紹介

別府マーチング委員会 <https://www.higuchishiki.jp/>



(株)樋口紙器工業所...主に紙の箱を扱っており最近ではコロナウィルス対策の飛沫防止パネルや手で持つマスクスタンドも開発販売中!

有限会社明石文昭堂[別府市内の老舗文具店]...文具事務機や画材など幅広く扱い、オリジナル万年筆用インクや、防災用品など独自の展開も行っています。

有限会社文化プロセス...シルクスクリーン印刷をメインとする印刷会社、紙でないものへの印刷を得意としています。最近ではビニール提灯もフルカラー対応しています。

別府マーチング委員会

所在地 大分県別府市光町2-6

代表 樋口 良一

企業HP 株式会社 樋口紙器工業所 <https://www.higuchishiki.jp/>

連絡先 Tel.0977-24-1771 Fax.0977-25-9770